

令和7（2025）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子 ども 育 成 機 能	基 本 活 動	(4) 卓球クラブ	43回		32	375	132	118				27	684	地域の才田さんにお越しいたいただき、卓球の技術・ルール・マナーを学ぶ。	15：30～16：30の間でビギナークラスと選手クラスに分け、30分ずつ実施。ビギナークラスではラケットの持ち方やサーブの打ち方など、基本を通して卓球を好きになってもらうことを主な目的とした。当初、ビギナーの人数はとても多かったが、最終的には8人となり、その内毎回練習に参加できるのは2～3人ほどに。一方で選手クラスは最終的に22人と増加。人数の偏りが出ている状況。今後は30分交代制を廃止し、ビギナーと選手が一斉に練習を開始する「合同型」へ移行するべきか検討していく必要あり。	
		(4) 将棋クラブ	11回		28	77	21	15					14	155	廣田先生にお越しいたいただき、将棋のルールやマナーを身につける。初めての子も駒の名前から動き方、将棋の指し方を学ぶ。また詰将棋などの実践、クラブ内大会など実力を計る場を設ける。	今年度は1年生の参加がほとんどなく、初回から経験者向けの詰将棋などをたくさん行う。個別の実力の差に対してスタディ将棋や講師、職員の個々へのアプローチをもって対応する。こどもたちの希望から大会を計4回実施。普段騒がしく将棋に取り組む姿と裏腹に、大会では2時間じつくりと静かに緊張感をもって取り組めるこどもたちの様子を見ることができた。
		(4) 写真部	12回		30	28	49	3						110	毎月テーマを設定し、写真を撮影する。個人のアルバムを制作する。写真展を開催し地域の方に写真部の活動を見ていただく。児童健全育成推進財団「じどうかん」冊子の表紙撮影。	参加人数が増え、また年度途中参加も有り14名の写真部として活動。今年度は他館へ撮影に伺い普段と違う写真を撮ることができた。アルバムを簡単にたくさん入れられるものにしたが、例年の数枚選びスクラップブックのようにデコレーションする形の方が写真提供の時間や児童のやりがいの面でも良いように思う。冊子「じどうかん」については初参加の部員や今まで選ばれたことがなかった部員の写真が選ばれ嬉しそうな様子が見られた。次年度も登録したいという声多数有り。
		(2) みさととこうきのおりがみ教室	13回		7	153		24	3					187	4年生、6年生のこうきくん、みさとちゃんが先生となり、おりがみ教室を行う。	新体制での1年となる。みさとちゃんが主体となるが部活や習い事で忙しく、こうきくんに折り方が伝えられていない事が多々あり、年度途中にまとめて本からコピーを取りこうきくんに渡した。みさとちゃんのモチベーションが低いかと心配する場面も多々あったが、みさとちゃん・こうきくん共に「おりがみ教室の先生である」という矜持を感じる一幕があり頼もしい。4年間先生をしたみさとちゃんから新3年生のひろとくんに交代、次年度はこうきとひろとのおりがみ教室となる。
		(2) #はらっこ絵本時間	12回	1		125				2			12	140	地域の原さんにお越しいたいただき絵本の読み聞かせを開催する。	季節のお話を中心に絵本だけでなく、紙芝居や大型絵本などの読み聞かせをしていただく。子どもたちにも要望を聞いていただき、毎回楽しみに参加している子もいた。読み聞かせ後も、本を借りて読み込む子どもの姿も見られた。

子ども育成機能	基本活動	(2) わくわくさん	12回	1	25	161	4	28		1			220	子どもたちがわくわくするような工作や体験を行う。	従来通り職員が輪番で企画を担当する。それぞれ職員の発想で毎月ちがう取組が展開できたと感じている。一方で、申し込むことも固定化されている感があり、様々な子どもたちに本当に届いているかどうか意識して企画設定もできればと感じる。体験企画も実施できる枠組みであるため、職員がもっと有効に活用できたらいいかもしれない。おうちの予定を踏まえて申し込みをしてほしいという思いから、申込書または電話による申し込みを導入した。当日の無断欠席は少し減ったように感じる。
		(3) キンボール体験会	1回		2	30	1	4				2	39	株式会社フェイスの方にお越しいただき、ニュースポーツのキンボールの使い方や遊び方を教えていただく。	キンボールに興味をもつ子どもたちが参加する。はじめてのキンボールに子どもたちは興味津々であった。実施が7月で熱中症の危険性もあったことから、30分間だけの体験となってしまったので、涼しい時期に体験ができればより子どもたちに楽しさが伝わったと思う。
		(6) ほほえみ交流活動	1回		1	78						2	81	ほほえみ交流活動の一環として、視覚障害のある方のお話を聞き、目が見えない体験も行う。	学童クラブでの視覚障害の児童の受入れをするにあたり、子どもたちに視覚障害についての理解を図るために実施。低学年の子ども向けに話していただいたが、集中が長く持たず、体験談を聞けない子が多かった。しかし白杖の使い方や目が見えない体験に興味を示していた。さまざまな方法で視覚障害など配慮が必要な人の理解につながるような体験が今後もしていきたいと思う。
		(3) 和風づくり教室	1回	2	3	1	2			4		2	14	日本たこの会京都の方にお越しいただき、和風の作り方を教わり、凧あげ体験を行う。	インフルエンザ流行時に実施日が重なり、申込のキャンセルが相次いだ。ビニールでつくるカイトではなく、竹ひごや和紙を使った本格的な和凧にふれる機会となった。つくった凧を小学校グラウンドであげる予定だったが、野球の使用と重なっており、当日野球チームと交渉することとなった。事前に体育振興会に確認が必要であった。大人の参加もあり、大人も子どもと一緒に楽しむことができた。
		(3) JUMP-JAM	1回	1	3	5	4			1			14	児童健全育成推進財団JUMP-JAMのプログラムを活用し実施する。	参加人数は少なかったが、幼児・小学生・保護者の家族参加もあり、にぎやかな運動あそびとなった。メニューを貼り出したことで、「次はこのあそびをしたい」と子どもの意見を取り入れながら展開することができた。年1回の活動となってしまったので、定期的な開催をしていきたい。
		(4) フレンドリースペース	14回		1	15	105	30					151	小学3年生以上の登録制高学年クラブ。自分たちでやりたいことを企画・実行する。今年度は児童健全育成推進財団主催の「こどもDoまんなかプログラム」に応募し、助成金を受け1年間取り組む。	今年は助成金プログラムに応募せず実施。助成金の経験がベースにある子たちにとって、助成金を前提とした経験ができないことを受け入れるのに時間がかかった。男女でやりたいことが分かれ、男子グループはじどうかんまつりのおぼけやしき導入動画作成をしたりyoutubeを見たりして過ごす。女子グループは料理、レジン、プラバンづくりをして過ごす。児童館事業への協力やレジングッズ販売体験を通した報酬相当の予算を設定し、最後は全員でおでかけを計画した。
		(3) 夏休みお出かけ企画	1回		1	28	2	6		1			38	夏休みのお出かけ企画として、大阪バスツアーを開催。北陽高校吹奏楽部の演奏会と伊丹空港へ出かける。	学童保護者の持ち込み企画として夏休みお出かけを実施。吹奏楽部の演奏会鑑賞だけでなく、高校生による高校内の見学案内もあり、小学生と高校生の交流が生まれていた。その後の伊丹空港での離着陸見学は夏の暑さもあり、30分程度しか滞在することができなかったのは残念だった。

子 ど も 育 成 機 能	基 本 活 動	(2) オセロ取組	18回		1	141	18	14						174	オセロ取組期間内に多くの対戦を行い、館内大会、ブロック交流大会に挑戦する。	児童館の取組を通してオセロに関心をもったという高学年の子どもたちがオセロのやり方を伝えてくれたり、本の寄付してくれる。学童に入ったばかりの1年生ふくめ取組参加者は多い。館内大会・ブロック大会ともに勝ち残った子はオセロ取組を通じて実力を感じられる子たちだった。来年度に向けて意欲的になってくれている子もいる。ただし、土曜日は都合のつかない子ども多いのが地域の現状ではある。
		(2) 館内オセロ大会	1回		4	2	2							8		
		(2) ブロックオセロ大会	1回		2		2							4		
		(2) マンカラ取組	19回		1	281		77						359	マンカラ大会に向けて取り組み、対戦を重ねて館内大会、ブロック交流大会に挑戦する。	昨年度に引き続き、成果が見えるような形で対戦カードでの取組、対戦数を掲載。単純なルールは低学年にもわかりやすく取り組みやすい様子で参加は多い。細かいルールについての周知が難しく、大会ルールとしては浸透していないため大会参加者については当日にあらためてルールを周知し直す必要があった。
		(2) 館内マンカラ大会	1回		5	3								8		
		(2) ブロックマンカラ大会	1回		1	3								4		
		(2) 卓球取組	2回		1	24		5						30	卓球取り組み期間中に対戦を重ね、館内大会、西京ブロック交流大会などに挑戦する。	あそび時間に卓球と触れ合うこともでき、卓球クラブ以外の子ども参加が多い印象。習いに行っている子やクラブに所属している子以外にも、打ち返しもしっかりできている子が多かった。館内大会では交流大会には参加できないが多数参加しており、卓球を楽しんでいるのが伝わってきた。交流大会では桂徳小学校で行ったため、少し落ち着いているようにも思った。兄弟や親戚の方も応援に来てくださり、子どもたちの頑張りをたくさんの方に見てもらえる大会になったと思う。
		(2) 館内卓球大会	2回		1	10	4	4				1		20		
		(2) 西京ブロック交流卓球大会	1回	7	22	1	25			41				96		
		(2) ドッジボール取り組み	14回		13	226	37	79						355	西京区の児童館の5館による交流ドッジボール大会に向けてドッジボールに取り組み練習を重ねた。	1月31日のドッジボール大会に向け、12月より練習を開始した。今年度は、昨年度の課題であった「高学年の参加」と「競技マナー」を徹底。ポスターを貼り出すなどした結果、前回より高学年チームの参加希望者が増加。低学年チームにおいても、昨年度同様、目標に向かって協力し合う姿勢が随所に見られ、技術面だけでなく精神的な成長も大きな成果となった。また昨年度、他館職員からの指摘を受けた「審判の判定に対する態度」については、練習段階からスポーツマンシップの重要性を周知する。大会当日は、熱戦の中でも子どもたちは、審判の判定を尊重して正々堂々とプレーする姿が見られた。今年度は、募集方法の工夫と事前指導の徹底により、昨年度の課題を概ね解決することができた。今後も、技術の習得だけでなく、集団活動におけるマナーや相手を思いやる心の育成に努めていきたい。
		(2) 西京ドッジボール大会	1回	22	82	6	68		1	95				274		
		(2) 将棋取組	21回		2	117		3						122	本将棋、はさみ将棋、王様つめの館内将棋大会、ブロック交流将棋大会に向けて主に将棋クラブのメンバーに参加を募り、大会に向けて対局を繰り返し挑戦した。	将棋クラブで本将棋が定着する一方で、はさみ将棋・王様つめが定着しにくい現状がある。山崩し、まわり将棋といった将棋を用いた他の遊びを取組として今年度は実施。本将棋以外をやりやすい環境づくりを行った。将棋にふれる人口は大幅に増えた印象がある。ただし、はさみ将棋・王様つめの実力に自信のある子が育ったわけではなく、大会への意欲は育めなかった。本将棋とともに今年の1年生の中に意欲的な子どもたちがあまりいないことを踏まえて、来年度は展開を工夫する必要がある。
		(2) 館内将棋大会	2回		7	9	2	2				2		22		
		(2) ブロック将棋大会	1回		4	1								5		
		(2) ギネス取組	11回			108	2	15						125	西京区の交流行事であるギネス記録会に参加する。けん玉、お手玉、コマの競技を行う。	今年度は達人の自己新記録を貼り出し、子どもたちも記録を伸ばそうと奮闘していた。職員のチェックが毎日大変になるため、ほかの方法も検討していきたい。練習にはたくさんの子どものチャレンジしていたが、館内記録大会となると参加が少なかった印象。館内記録会に挑戦している子どもたちは程よく緊張感もあり、悔し涙もありで記録会らしさがあった。
		(2) 館内ギネス記録会	1回			19		8						27		

子ども育成機能	基本活動	(2) 児童館まつり実行委員会	8回			15	11	6					32	児童館まつりを企画・開催するため実行委員を募り、会議を行い役割分担をして準備を進めた。主にお化け屋敷のコーナーを担当する。	児童館まつりを企画したい子どもが集まり会議を開催。子どもたちの意見から「お化け屋敷」「水族館」の実施が決定。実行委員は主にお化け屋敷の準備を進めていく。実行委員が自らの保護者に協力も仰ぎ、当日のお化け屋敷のお化け役をお引き受けいただくなど、子どものやる気や力により、大人の心を動かすことができた。また実行委員の人数が少ないこともあり、高学年クラブフレンドリースペースにも協力をしてもらい、一緒にまつりやお化け屋敷をつくりあげることができた。たくさんの方の来場者に実行委員の子どもたちも達成感を味わっていたようであった。
		(3) 小学生クリスマス会	1回		6	102	11	36		1			156	小学生以上向けのクリスマス会を開催。学童クラブの高学年児童が主体となり、参加者全員で楽しめるようなイベントを行った。	学童クラブの高学年会議の中で企画・準備を進めた。今年度は桂徳小学校の終業式の日で開催したため短い時間の中ではあったが、桂徳小学校の体育館をお借りして、コーナーあそびとビンゴ大会を展開した。企画した高学年・参加者共に楽しんでいた様子は見られたものの、設定時間の短さのためコーナーあそびにあまり参加できていない参加者もいた。来年度、開催日について検討が必要。
		(3) 習字DEワークショップ	1回		2	1	2			1		1	7	地域の習字教室でご活躍の矢野貴翔さんによる習字ワークショップ。「色紙絵馬づくり」を実施する。	昨年度に引き続き矢野先生による習字DEワークショップを実施する。参加者はリピーターが多く次の開催を楽しみにしている。次年度は、より多くの子どもたちにも参加してもらえるよう気軽に参加できる内容などを講師とも相談しながら検討していきたいと思う。
		(7) 中学生タイム	31回						68				68	17時以降の中学生の居場所づくり。	学童クラブ出身の特定の子どもたち中心にその友人が遊びに来る。それぞれ持ってきたもので過ごしたり、職員や年少の子どもと遊んだり、あるいは卓球をして過ごす。お金のかからない居場所、として位置づいている印象がある。中学生になって広がった交友関係から他小学校区の友人を連れて遊びに来てくれることもある。中学校区内の他児童館等と情報交換をしながら中学生世代の居場所づくりを考えていきたい。
		(7) 中学生タコバ	1回						10				10	中学生世代対象にたこ焼きパーティーを実施。	中学・高校を卒業する子どもたちをメインターゲットに児童館でたこ焼きパーティーを実施する。中学から離れ離れになっていた子ども久しぶりに会う機会となり、話に花を咲かせていた。児童館がいつでも帰ってこれる、集まることができる場所となれるよう今後も中学生世代向けの取組を実施していきたい。
		(3) カードゲーム大会	1回		2	3	3	2					10	こどもの意見から発展した企画。6年生男子が自由来館児童に向けたポケモンカードバトル大会を企画・準備・運営をする。	昨年度に引き続き、子ども企画として実施。著作権等の課題からカードゲームの名称を出しての広報ができず、館内掲示や子どもたちの口コミで参加者を募った。6年生が司会進行する姿を見て、次は自分もやってみたいという3年生の姿があり、子どものやる気につながっている様子がある。
		(2) だがしやさん	8回	18	127	762	73	241	9	14			1244	小学生高学年がお店屋さんとなり、乳幼児親子から小学生、中学生も参加できるだがしやさんを行う。	学童クラブのおやつに合わせひとり100円で実施する。年度初めに学童クラブ高学年とともにおやつ候補を出す。お店屋さんをしたい子どもは多く、人数不足で困ることはなかった。ただし1時間継続する集中力はなく、途中交代・休憩をはさむ。高学年の帰館が間に合わないときは2年生がお店屋さんをしてくれたこともあった。こどもたちの発想から、児童館の外に出す看板を作ったり、だがしや当日にポップアップを作ったりしてくれる。自由来館がたくさん来てくれるイベントとなった。

	(6) 小学生ミュージックケア	1回		1	10			3			3	17	小学生向けのミュージックケア。小学生と放課後等デイサービスさんばちのこどもたちとの交流の場となっている。	1,2年生が主に参加。初めて見る、参加するという児童が多く、始めはどんなことをするのか様子を見ていた。途中参加も少し有り、楽しそうな雰囲気になった様子。さんばちの利用者の方も3名参加。森田さんが動きのある小学生向けのセッションを行ってくださり、思いっきり走り回る姿が見られた。楽しかった、との感想があり来年もぜひ参加してください、と森田さんから伝えていただく。	
	(3) 防災クッキング	1回	4	10	2	1	3		6			5	31	つながる防災プロジェクトの一環として、西京食育指導員の会さんにご協力いただき、災害時の調理方法について学ぶ。	乳幼児、小学生親子の参加があり、興味関心の高さを感じた取組となった。災害時でもポリ袋で御飯が炊けること、おいしい料理をつくることができることを体験し学ぶことができた。西京食育指導員とつながることができたので、今後も地産地消クッキングなど別のテーマでも連携していきたいと思う。
	(3) ミニミュンヘンin京都	14回		9	58	22	10		12				111	キックオフ～ワークショップ～準備	こどもスタッフとして手を挙げたこどもたちは、夏頃から当日の10月末まで意欲的に参加。来年度もやりたいと意気込んでいる。当日遊びに来た桂徳のこどもたち・学童引率のこどもたちもまちの仕組みを楽しんでいた。第7ブロックは担当館を分担しての実施となったため、意気込んでいるこどもたちが次年度どのように参加できるのか不透明である。参加が叶いそうであるなら関わられるよう支援してあげたい。
	(3) 避難訓練	12回		13	928	16	233					8	1198	避難経路、避難方法を確認し、地震や火災の発生、不審者侵入を想定した避難訓練を実施。消火器訓練の実施。また、西京警察署のスクールサポーターさんに来ていただき、防犯に関するお話と不審者対策について学ぶ。	西京警察や西京消防立会いのもと、専門的な視点から避難訓練の講評をいただいた。いつも同じ避難方法ではなく、さまざまな被害想定を考え実施していく必要がある。つながる防災プロジェクトにてつながった河川レンジャーさんにご協力いただき、水害時の避難についてお話をいただいた。今後は緊急時の職員の動き（応急手当班、通報班など）を意識した訓練も実施していきたい。
	合 計		56	449	3908	619	966	94	179	0	0	79	6350	-	
推進活動													0		
													0		
	合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子ども育成機能 合 計			56	449	3908	619	966	94	179	0	0	79	6350		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和7（2025）年度

児童館事業年間活動報告書

（京都市桂徳）児童館

		活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子ども 基本 家庭 支援 活動	基 本 活 動	(1) ②さんさんばーく	28回	124						120				244	遊戯室、図書室など自由に遊べるよう月齢に合わせて大型遊具などを準備。11：30からは職員のふれあいあそびや絵本読みを実施。	広場として、ただ児童館のおもちゃ、遊具をただ使ってもらっただけでなく、そのなかで職員が利用者と関わり合い、児童館の敷居を下げ、日々の利用促進を行う。保護者同士の情報交換やこどもの成長をともに喜ぶ場として機能する。
		(1) ②こぐまちゃんひろば	17回	82						84			6	172	0歳児の親子を対象にした広場。お子さんの月齢に合わせた手あそびやふれあいあそび、工作などを隔週で行う。2週目の活動日にはお誕生日会を実施し、写真と足形のカードをお渡しする。	参加される保護者がほっこりできる、情報交換をできるように心がける。またおうちにかえってもお子さんと遊んでみようかと少しでも思ってもらえれば、と取り組み内容を入れた。ゆったりと遊んでいる時間にも、悩まれている内容があれば、ほかの保護者と話せる機会として関わった。
		(1) ①くまさんクラブ	40回	402						404			15	821	1歳以上を対象とした登録制の幼児クラブ。季節の歌や手あそび、体操、設定あそびを提供し、親子で楽しんでもらう。よりダイナミックな工作や、西京警察署との交通安全教室を年3回実施。	毎回テーマを決めて実施。こどもの顔を想像しながら準備することができ、こどもが好奇心をもって自然と取組に入れるよう、こどもが展開するあそびを止めないよう、心掛ける。1年間通してこどもの成長を喜び合う。 今年度は、新年度の入園に向けてこどもを集団に馴染ませたいというニーズから12月ごろから単発の利用が何組かある。
		(1) ②ヨガ教室	12回	85						80			12	177	講師に来ていただき、本格的なヨガの指導をしていただく。小さいお子さん連れの方も参加可能としているが、自分の子どもは自身で見えていただきつつ、職員も補助で入るようにする。	年度末に向け参加人数が増えた。10組参加となると狭くやややりづらい様子。お子さんが傍で過ごせない場合は図書室で職員が保育する形となるが、離れられない方についてはヨガに集中できない場面もあった。
		(2) 大人ヨガ	12回	2					1	108			12	123	講師に来ていただき、本格的なヨガの指導をしていただく。前年度に引き続き登録制の形をとって行う。	メンバー固定でヨガを行う。講師も参加メンバーをイメージしてプログラムを考えて下さる。休みが重なり、参加人数少ない日もあったが少し動きのあるヨガを取り入れるなど臨機応変に対応いただいた。
		(1) ②ミュージックケア ねんね	10回	81						83			12	176	地域 の森田さん に講師として来ていただき、楽器やパルーン、スカーフなどを使い、親子で音楽に合わせてふれあいを楽しむプログラムを行っていただく。	今年度もねんね・よちよちわいわいと月齢に分けて行う。参加人数が低迷する月もあったが徐々に0歳対象の参加が増加した。森田さん、参加者の様子をよく観察され声をかけてくださる。大半の曲をSDカードにまとめたが、別で流すCDのみの曲、森田さんのスマホから流す曲などありタイムラグがあるので全てSDに入れていくことも考える。
		(1) ②ミュージックケア よちよち・わいわい	11回	64						70			11	145		
		(1) ②お昼ごはんタイム	28回	51	1		1			52				105	育成室にて持参していただいたご飯を食べる場所の提供。	取組後に利用する方が徐々に増えていた。特に足型アートの取組後は、利用者の年齢が低いため、食べて帰る（帰り道寝してしまうため）方が多く見られた。
		(1) ②民生委員主催なかよしっこ	8回	54						53			51	158	民生委員さん主催の乳幼児ひろば。遊具の開放や、絵本の読み聞かせ、お土産渡しを行う。	今年度は参加者が徐々に増加し、活気ある場となった。民生委員の方々からも参加者へ積極的に声をかけていただくなど、地域との交流の機会となっている。また今年度は、昨年度末から参加者数の減少が課題として挙がっており、職員もふれあい遊びや企画に積極的に関わり、プログラムの充実を図った。

子ども 家庭 支援 活動	基本活動	(2) プラレールであそぼう！	1回	26	6	4	6	1		22		6	71	鉄道模型であそぼう会の方に来ていただき、プラレールあそびを行う。	乳幼児・小学生に大人気のプラレールで思いきり遊んでいただく。鉄道模型であそぼう会のみなさんにお越しいただくのも3年目となり、会場の広さなども把握されており、スムーズな準備ができた。長時間滞在する方が多く、遊戯室が満員状態であった。今回は、図書室で足型アートコーナーもあり、盛りだくさんの企画となった。ほっこり過ごすスペースがなかったのは反省点である。			
		(2) 土曜もあ・そ・ぼ	9回	75	7	22	8	13	1	67		2	195	乳幼児親子対象の土曜日のあそびの広場。父母だけでなく、普段なかなか利用が少ない祖父母も対象に、一緒に児童館で楽しむ機会として実施。	土曜の取組の空き日に実施。ぬりたくりあそびの人気の高い。洛西や伏見からの利用がある。毎回、絵の具1セットを使い切り絵の具でどろんこのように遊ぶ。遊具による広場の日もぬりたくりの日も小学生にも入ってもらい遊びの広がりを誘う。			
		(2) さつまいもほり	1回	10	8	4	3			11		1	37	地域の山内農園さんにご協力いただき、さつまいもほりを行う。	付近の準備していただいたが育ちの関係で河川敷近くの畑に行かせていただく。乳幼児親子の参加も多いが、小学生も親子で参加もあり需要が多く感じた。乳幼児親子は荷物も多く、レジャーシートがあった方が良かった。次年度乳幼児・小学生分けることも可能、数を増やすことも可能と山内農園酸に確認済み。			
		(1) ②乳幼児クリスマス会	1回	19						21		9	49	民生委員主催なかよしこと合同でクリスマス会を開催した。	今年度の乳幼児クリスマス会では、手遊びやふれあいあそび、コンサートなど、親子で音楽を楽しむ時間となった。コンサート出演者との連絡調整役とクリスマス会担当の職員が異なり、情報の共有に時間を要したので、早めの企画立案・打合せが必要であった。			
		(1) ②はじめてのクリスマス会	1回	14						14			28	0歳児向けのクリスマス会を開催した。内容は、クリスマスあそびと寝相アート。	今まで児童館を利用したことのない方からも申込あり。イベントへの参加から日々の利用につなげていきたい。保護者の意見からハイサーキットをプログラムに入れる。月齢差やできることにも差が多いためそりを準備するが、終始かわいいと母が喜ぶ声があった。一緒にサーキットをされた方と、クリスマスプレゼントは何にするかの話をされるなど交流される姿が多く見られた。			
		(1) ②足型アート	12回	120	2		3			109		12	246	子育て中の母2名による、足型アート教室。毎月季節の足型アートを行う。	今年度から1名の講師で活動。参加人数を減らし、職員2人入る体制で取り組む。学童クラブ児童が早くかえて来る日と重なり、準備を小学生のいる中行うことも多かった。キャンセル待ちが多く、乳幼児親子のニーズの高さを感じる。			
		(2) あそびキャラバン	1回	14	1					15		3	33	合同会社INCREWさんによるあそびの広場。	嵯峨野児童館よりご紹介いただき実施。不登校の小学生も参加しいきいきと楽しむ姿が見られた。今年度は乳幼児対象とした取組を実施したが、次年度は乳幼児・小学生を対象としたあそびの広場を実施していく予定。			
		合 計		1223	25	30	21	14	2	1313	0	0	152	2747		}		
		(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数		相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
			乳児	2	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員					17		健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動			5	児童相談所 保健所 保健福祉センター 幼稚園・保育園 小学校		
幼児			5															
小1～3年（自由来館）	2		1	1														
小1～3年（学童）	12																	
小4～6年（自由来館）	1			3	1													

子ども家庭支援活動		小4～6年（学童） 中学生 高校生	1	その他 就労継続支援B型事業所	1	その他 児童館の利用方法について	3	中学校 総合支援学校 その他	
		件数 計	18	—	18	—	17	—	2
	(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育成・支援内容		成果と課題
		足型アート	2	子育て中のママによる自主的活動。 足型アートの取組の企画・準備・運営。			保護者同士が交流し合えるよう環境を整え、スムーズに取り組みが行えるよう調整する。		2名の子育てママが講師として行っている活動であったが、都合により大きなイベント以外は1名の講師だけで実施していただく。講師の負担も軽減するため、職員と分担し足型アートのキット作成を行う。当日は慣れた参加者も多く、スムーズに運営することができた。
		大人ヨガ	13	子育てが一段落した母や、地域の方が所属するヨガ。月に1回のリフレッシュタイム。			取組日の調整や講師の方との連絡調整をする。		メンバー同士のご家庭のことや趣味などのお話をされる姿も見られ、固定メンバーの良さを感じられる1年となった。
	推進活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題	
		交通安全教室	3	幼児クラブ「くまさんクラブ」内で行う交通安全教室。西京警察の方に来ていただき、わが子を守るために学ぶものであることも伝え、行っていた。				3回を通して同じ女性警察官の方が来てくださり、こどもたちの成長とともに感じてくれる。今年は昨年度と全く同じ内容（雨の日の通行、自転車、公共交通）としたが、特に自転車について毎年新しい情報があり保護者の方からも質問あるほど関心が高い印象がある。	
		オムツからパンツへ	1	子育て包括アドバイザーの竹本久美子先生に来ていただき、子どもの発達とあそびの関係性についてお話いただき、子育て相談会も行う。				参加された方からはすごくいいアドバイスをもらうことができたとお声をもらうが、毎回申込人数は多くなく広報の難しさを感じる。一方、次いつ竹本先生の講座があるのか問い合わせもあり、親身にアドバイスをくださるのでニーズはある。Instagram等のSNS発信や、広報の方法を工夫し周知していきたい。	
		新しい世界へ	1	子育て包括アドバイザーの竹本久美子先生に来ていただき、子どものほめ方やしかり方のポイントなどについてお話いただき、子育て相談会も行う。					
		子どものケガと応急手当	1	西京消防署の方にお越しいただき、よくある子どものケガと応急手当についてお話いただく。				乳幼児親子向け、1時間でもお願いしたいと無理難題をお願いしたが、わかりやすくポイントで教えてくださった。当日参加の方もあり、両親ともに参加される方もありで、消防士さんから適切に教えていただける機会は今後も需要があると感じる。	
		歯科衛生士さんのお話会	1	西京保健センターの歯科衛生士さんにお越しいただき、乳幼児期の歯磨きの仕方のお話や歯ブラシチェックなどについて教えていただく。				広報をかけるが人数少ない。歯医者さんに行っているとのお話もあり少ないようにも感じた。ゆで卵とお酢を使いフッ素の大切さを実演してくれ、参加者からは「分かりやすかった」とのお声をいただく。	
		お片付けセミナー	1	整理収納アドバイザーの方に来ていただき、こどもをもつ保護者の方向けのお片付けのコツをお話いただく。				お片付けの方法や声掛けを知りたいと保護者からの要望があり企画する。プロジェクターを写真とり、資料をデジタル化されるなどいつもと少し違った講座で良かったと思う。当日キャンセルもあり、参加人数は少なかったが、個別親身に相談されている姿もあった。	
		感染症と対策講座	1	西京保健センターの保健師さんにお越しいただき、これからの季節の感染症やその予防・対策についてお話いただいた。				感染症というワードに惹かれ、乳幼児親子が参加してくれる。ネットでも情報はあがるが、改めてお話を聞きに来ってくれる。皆さん嘔吐処理に関して熱心に聞かれていた印象。次回同様のテーマで行う場合は少し期間を空けてもいいと感じた。	

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和7（2025）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ） 児 童 館

地域福祉促進機能	基本活動	(1)地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
			自由来館	学童クラブ	自由来館		学童クラブ								
			学区体育祭・桂徳まつり	1回	自治連合会	21	72		36		35	25	189	自治連合会 桂徳体育振興会 桂徳小学校 桂徳小学校PTA	地域として初めて、午前中に体育祭、午後からまつりの開催。地域との打合せが不足しており、午後からも司会担当があるなど当日になって知ることがあり、厳しいコーナー展開となった。あそびコーナーでは、学童OBの高学年が手伝いをしてくれる。
			なかよし広場	2回	桂徳子育て連絡会	138	70	10	38	6	1	171	434	民生児童委員会 学区社会福祉協議会 長谷川乳児保育室 みつばち保育園	今年度は移動動物園とハロウィンパーティーをなかよし広場として実施。移動動物園はたくさんのご家族の参加があり、道路の横断や自転車整理など不足な点があり反省である。障害のあるお子さんが自転車で来られ、急遽児童館からバギーを貸出したが、誰もが来れる取組として車椅子をレンタルするなど想定しておく必要があった。
			桂徳じどうかんまつり	1回	児童館	59	96	10	39	3	10	95	312	就労継続支援B型事業所FindLife 西京エコまちステーション 日本新薬 AQUAinfinity	こども実行委員を募集し、企画からこどもの意見を取り入れる。お化け屋敷を主にこども実行委員に準備してもらい、当日長蛇の列にこどもたちも喜んでいった。こどもたちが企画・準備していることに地域の方々も感心していた。こどもたちと地域の方々の交流の機会として、今後も継続して実施していきたい。
			防災フェスタ	1回	児童館	4	12	8	5	4		19	52	自治連合会 桂徳自主防災会 桂徳消防分団 河川レンジャー 損保ジャパン 日本公衆電話会 ひらかた市民活動センター	つながる防災プロジェクトの一環として実施。地域関係機関にご協力いただき、さまざまな防災に関するコーナーを行った。自治連合会のみなさんから自主的にポップコーンコーナーをするよ、とお話いただき当日こどもたちも喜んでいった。こどもと地域、地域と関係団体がつながる機会となった。
はじめましてお誕生会	4回	桂徳子育て連絡会	11							11	22	民生児童委員会 みつばち保育園	対象が生まれて3か月間と限られているため参加者は少ないが、参加された方々の満足度は非常に高い。みつばち保育園の岡谷先生によるお話やママの悩み相談は、参加者同士関心が高い様子である。はじめましてお誕生会から、みつばち保育園の入園や児童館利用につながっている。		
合 計				—	233	250	28	118	13	46	321	1009			
活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題								
			中高生	大学生	大 人	合 計									
卓球クラブ						27	27	毎週、地域の才田さんに来ていただき、技術だけでなく勝負に挑む上での意識やマナーなどについても学ぶ機会となっている。才田さんとの対戦を楽しみにしている子どもたちが多くいる。ブロック交流卓球大会が桂徳開催だったため、卓球台の使用方法や会場のレイアウトなどご意見をいただいた。							

(2) ボランティア活動の推進	将棋クラブ				14	14	言葉かけ、取組の設定をもって子どもを惹き付けるとともに、実力をもって子どもの信頼も得ているので、とても頼もしく感じている。また伝手で講師の方を紹介下さり、たくさんの子どもたちを同時に対応できる状況を作ってくさっている。	
	ミュージックケア				23	23	今年度も地域の森田さんに来ていただき、月2回のミュージックケアと夏休みの小学生向けミュージックケアを行う。日々の他愛ない話や、利用者の方の悩み相談、森田さん自身の子育て経験について話をしてくださることで毎回和やかな雰囲気でのセッションとなる。	
	ヨガ教室				24	24	引き続き毎月1回、小城先生に来ていただいた。ヨガ教室の中で参加者への声かけや気遣い、マッサージなどをしてくださり先生との関わりを楽しみに参加されている方もいらっしゃる。職員が保育にあたることで教室の進行について先生にお任せしてしまう場面が多々あった。	
	乳幼児クラブ内の絵本の読み聞かせ #はらっこ絵本時間				30	30	ストーリーのある内容をこどもにしっかりと読み聞かせていただいている。乳幼児クラブでは保護者の方から絵本選びの相談も受けて下さっている。	
			合 計	0	0	118	118	
(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等		連 携 内 容				成 果 と 課 題	
	桂徳小学校 桂徳自治連合会 民生児童委員会		児童館おたよりの配布、小学校行事への参加、グラウンド・体育館の借用 児童館おたよりの地域回覧、学区のおまつりへの協力、学区体育祭への協力 児童館でのサロン、児童館おたよりの地域回覧、地域子育て支援ステーション事業、桂徳じどうかんまつりの協力				例年の連携した活動に加え、今年度は防災に関わる取組を年間通して行ったため、さまざまな関係団体と協力連携し活動を行うことができた。今年度のつながりを絶やさないう今後も一緒に子ども・子育て家庭の支援にあたっていきたい。今年度末で民生児童委員さんが総入れ替えとなり、新たに関係性づくりをしていく必要があるとともに、民生児童委員の成り手がいない、という地域の課題について、今後どう対応していくのか、児童館としてできることはないか検討していきたい。	
	学区社会福祉協議会		地域子育て支援ステーション事業					
	みつばち保育園		地域子育て支援ステーション事業、子育て支援					
	サクラインターナショナルスクール		駐車場の借用					
	長谷川乳児保育室		地域子育て支援ステーション事業					
	西京食育指導員の会		防災クッキングの協力					
	淀川管内河川レンジャー		防災フェスタ、避難訓練の協力					
	桂徳自主防災会		防災フェスタの協力					
	桂徳消防分団		防災フェスタの協力					
桂徳少年補導推進委員会		新春風あげ大会						

令和7（2025）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ） 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題	
			桂徳子育て連絡会（地域子育て支援ステーション）		桂徳小学校 みつばち保育園 長谷川乳児保育室 学区民生児童委員会 学区社会福祉協議会 西京こどもはぐくみ室 西京区社会福祉協議会 桂中学校 放課後等デイサービスビーフレンズ		会議 4回		各機関の情報交換 地域子育て支援ステーション事業 の計画、総括について		年4回の地域ステーション会議を 開催し、各機関の近況の報告 や、事業の相互協力をした。地 域で子どもを育てるための情報 共有を行う。保育園、乳児保育 室、子どもはぐくみ室、放課後 等デイサービスとともに、学区 単位の地域での、発達に課題を 抱える子どもの家庭支援につい て、今後協議を進めていく。	
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成果と課題			
			2階 遊戯室		子育てサロン なかよしっこ （桂徳民生児童委員主催）		桂徳民生児童委員会 桂徳自治連合会		民生児童委員主催の取組ではあるが、参加者の減少などの 課題があり、今年度は児童館の職員もふれあいあそび を行ったり、設定遊びを一緒に考えたりと積極的に介入 する。			
			図書室の本の貸し出し		絵本・子育て本・児童読み物などの本の貸し 出し業務		桂徳児童館		乳幼児親子や小学生など幅広い利用がある。人気の絵本 はたくさん子どもたちが読んでおり、痛みが多いた め、定期的に修繕、また新しく買い替えを行う。			
			鈴、ボンボンの貸し出し		放課後等デイサービスさんばちさんによる ミュージックケアの実施		放課後等デイサービスさんばち		鈴の貸し出しをした際に一つ紛失される事案あり、提供 先に買い直していただく。返却の際には壊れていない か、数がしっかり合っているかなど確認を徹底してい く。			
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法		成果と課題		
			乳幼児保護者調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	児童館利用乳幼児保護者	桂徳児童館		アンケート		児童館や学童クラブについて利用者の方から率直な意見 をお聞きすることが出来た。無記名での回答が可能なた め気兼ねなくご意見を書いてくださる。 乳幼児アンケートではトイレのベビーチェアの設置要 望、学童保護者アンケートでは防犯についてのご意見を いただき、改善に向けて対応している。		
			学童クラブ保護者調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	学童クラブ保護者	桂徳児童館		アンケート				
			学童クラブ児童調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	学童クラブ児童	桂徳児童館		アンケート				
			自由来館児童調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	自由来館児童	桂徳児童館		アンケート				
		地域調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	児童館利用の地域の方	桂徳児童館		アンケート					

令和7（2025）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	毎月1回	0～18歳までの児童とその保護者 地域住民	桂徳小学校での全校配布 地域役員への配布 地域回覧 保健福祉センターでの配布 館内掲示・館外掲示板掲示 ホームページに掲載	次月の予定や、取り組みの説明 前月の取り組みの様子報告 館内ルール、児童館利用の方法	目を引くおたよりデザインを引き継いでいるため、それについてよく声をかけていただいている。乳幼児親子向け、小学生向け、中高生向けのメッセージをおたより表紙に改めて記載したが、どれだけ成果が出ているかはわからない。デザインと裏腹に情報量を書ききれない月間がたまにあるので、今後も情報を整理しながら作成していく必要がある。
	ホームページ	随時	インターネットを利用されている方	ホームページに情報を掲載	児童館の紹介や、取り組みの説明 取り組みの様子報告 児童館だよりの掲載 学童クラブ児童保護者への連絡	特に乳幼児保護者に対して児童館を利用されてもホームページを見るので、とおたよりを持って帰らない保護者の方が一定数いるため、需要をととも感じる。
	ポスター・チラシ	各事業ごと	0～18歳までの児童とその保護者 地域住民	児童館内・掲示板への掲示 地域回覧 来館者への配布 地域商店への掲示	児童館事業及び、地域子育て支援ステーション 事業の実施のお知らせ 日時・場所・参加形態・申し込みの有無	イベントごとにポスターを作成し広報したことで、興味を持たれ申込・参加する方が多くあったと思う。児童館内や掲示板への掲示が主だったため、より幅広い方に周知するには地域商店や地域の方が見る場所への掲示が必要である。今後は地域商店などへの広報により力を入れていきたい。
	西京はぐくみだより	毎月1回	保健福祉センターを利用される乳幼児の保護者	西京はぐくみ室が発行されている西京はぐくみだよりに掲載していただく	次月の乳幼児親子を対象とした取り組みのお知らせ	乳幼児親子は桂徳学区以外からの利用も多いため、ホームページと同様に学区外へ情報を伝えられていることには、一定の成果があると感じている。
	幼児クラブだより	毎月1回	登録制幼児クラブの保護者	幼児クラブでの配布	次月の予定や、様子の報告 季節のうた・手あそび	クラブの様子写真を入れていたため、親子で自身の写真があるか楽しみに見ているのが印象的であった。クラブ内容も確認して服装を変えて来てくれており、必要性を感じた。次年度は隔週の取組となるが、継続していきたい。
	Instagramの情報発信	不定期	Instagramを利用されている方	SNSで写真を使つての情報発信	児童館の取組の様子紹介 児童館の日々の様子の紹介	Instagramのフォロー数も増えており、児童館のPRとしてはSNS発信の有効性は高い。取組の申込開始のお知らせや、取組の周知など広報として、より活用していきたい。

令和7（2025）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	出欠・帰宅確認 帰宅指導 手洗い・消毒 冬期帰宅時間の設定・調整 防犯訓練・教室	子どもたちの安全と衛生を最優先に、出欠確認や帰宅指導を徹底して行う。特に冬期には帰宅時間を早めに設定し、安全な帰宅を支援する。手洗い・消毒の習慣を促すことで、感染症予防にも努める。また防犯訓練を実施し、子どもたちが不審者対応や安全な行動を学ぶ機会を提供。これにより、子どもたちの安全意識を高めることができた。一方課題として、出欠確認や帰宅指導の際に、職員の情報共有が不十分な場合があった。それにより、繁忙時には確認漏れが生じることも。次年度は、報告・確認の連絡を徹底する必要がある。
	健康の管理・情緒の安定	体調管理の指導 おやつ提供	体調不良のこどもの早期発見や保護者への連絡を徹底して行う。夏場は特に、季節に応じた服装や水分補給の重要性を伝え、子どもたちが自分で健康に気をつける意識を育てることができた。おやつ提供では、週に一度3年生の選んだおやつを取り入れることで、子どもたちの関心を高めることができた。一方で、おやつ提供において、アレルギー対応や好み多様性への配慮が不足する場合があった。そのため、次年度はアレルギー情報の確認を徹底しておく必要がある。
	基本的生活習慣の確立	挨拶、片付けの指導 手洗い・うがい・消毒の徹底 清掃活動	挨拶や片付け、手洗い・うがい、消毒の徹底を日常的に指導し、子どもたちの基本的生活習慣の確立を支援する。挨拶の習慣は、職員が率先して実践することが重要である。お迎え時の送り出しなどでもしっかりと対応していきたい。片付けについては、片付けをせずに別のあそびに移ってしまう子が多く、何度も声をかけることや、片付け方がわからない子がいたこともあり、声掛けや片付け方の表示方法に工夫が必要である。
	社会生活技術の獲得	帰りの会 児童館事業への参画 思い出遠足 避難訓練	帰りの会を毎日実施し、次の日の予定や今日あったこと等を伝達。また、日直やゲームを子どもたちが主体的に参加できる場を設ける。児童館事業への参画では、じどうかんまつりのコーナー企画や小学生クリスマス会など、学童クラブの子どもたちが企画や運営に関わる機会を設け、子どもたちの達成感につながった。思い出遠足では、各グループのリーダーを決め、グループ表を事前に掲示したことで、当日のグループ行動がスムーズにできていた。避難訓練では、火災や地震を想定した訓練を行い、緊急時の自身の行動を確認することができた。
子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生歓迎会、お誕生日会 修了式・お楽しみ会 思い出遠足	新入生歓迎会について、司会とクイズを5年生、迎える言葉は3年生、メダル渡しを6年生にお願いし、楽しい雰囲気の中1年生を迎えることができた。 お誕生日会ではケーキ等の特別なおやつ提供、帰りの会でのお祝いとプレゼントとカード渡しを行う。帰りの会ではプレゼントを渡すだけの場になってしまっていたため、今年度は各クラスの色に合わせた飾りつけを増やし、プレゼント渡し後はハッピーバースデーの歌をみんなで歌う、という流れに変更。月々のお誕生日の友達をお祝いするという気持ちを今後も持つてもらえるよう取り組んでいく。 修了式・お楽しみ会は6年生を送る会も含めて行った。お楽しみ会では内容や司会を5年生に取り組みでもらった。話し合いの機会が少なく細部までイメージできていないままの本番となったことで当日うまくいかない場面があったため、どういった形で開催するのか具体的に提示して話し合っていく必要がある。当日の臨機応変な対応についてそれぞれ非常に頑張っており取り組んでいた。 思い出遠足は神戸どうぶつ王国を利用。昨年度の反省から渋滞に巻き込まれることを想定し、集合・出発時間を早めに設定した。バス内で神戸どうぶつ王国の見どころを話すなどする。医療的ケアが必要な児童も保護者同伴のもと、遠足に参加することができた。ケガにより車いす移動が必要な子どもも参加し、子ども同士助け合いながら、車いすを押す姿が見られた。
	社会性の養成	お当番活動、帰りの会 帰宅指導	3年生のお当番活動として、帰りの会の日直やおやつ当番を行った。現2年生も3年生になったらおやつ当番などができる、と期待しているため次年度も続けていきたい。 帰宅指導について、4月に新1年生を含めそれぞれの帰り道について危険な場所などを実際に歩いて確認する。また4月以降は町別での帰宅時にトラブルが多々あり、そのつど話し合いの場を設けた。交通ルールや安全については何度も伝えていく必要がある。
	自立の促進と自主性の尊重	ステージ発表の出演 学年会議 高学年会議 新入生歓迎会、お誕生日会	学年会議について、より明確に役割を作り活躍の場を増やしていきたいという思いから2年生以上の各学年会議については何をするのか目標を具体的に子どもたちに提示し、企画やじどうかんまつりのコーナーなど取り組んでいった。それぞれ意欲的に参加し取り組み姿があり、また企画そのものを楽しみながら他学年に関わる姿も見られ、子どもたちが活躍し交流できる場作りができた。高学年は3月に1年間の頑張りのご褒美として高学年お出かけ企画を行い、子どもだけでひらかたパークを周り、昼食などの買い物をするという経験ができた。1～3年生からも来年はまた別の役割や楽しみがあるという憧れや期待を持てる機会となった。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだより・学童新聞 保護者懇談会・個人懇談 申請説明会 入会説明会	学童クラブだよりと桂徳学童新聞を発行し、月々の予定や子どもたちの学童クラブでの様子をお伝えした。学童新聞では、取組以外の普段の様子の写真を多く掲載し、また子どもたちの日々の出来事をコラムや3コマ漫画の形で伝える。子どもたちも写真等を楽しみにしている様子が見られた。 保護者懇談会、年3回実施。子どもたちの様子をスライド写真を用いてお伝えする。親子交流会や作品展などを一緒に行うことで参加者数の増加を促した。今後もより保護者に子どもたちの様子が伝わる懇談会を実施していきたい。 申請説明会では次年度学童クラブ新規利用予定の保護者を対象に申請方法や学童クラブの概要を説明した。 入会説明会は入会が決定した全ての保護者を対象に実施した。学童クラブの1日の流れやルールについて説明し、また入退室管理についてアプリの使い方希望者にお伝えした。
	子育ての仲間づくり	保護者懇談会 親子交流会 児童館まつり等での保護者要員	第1回の保護者懇談会・親子交流会では、西京こどもまつりも中止となったため発表するはずであったパフォーマンス披露を行うとともに、高学年企画によるあそびの交流を行った。第2回の懇談会は、作品展を合わせて開催する。レゴブロックやLaQなど日々の子どものあそびの様子を見ていただく機会となった。第3回はだしがしやさんを行い、高学年に売り子をしてもらう。親子でおやつを食べながらの、和気あいあいとした懇談会となった。 児童館まつりでは保護者に要員お手伝いを要請し、参加していただく。受付やあそびコーナー、お化け屋敷のお化け役等の補助に入っていただき保護者同士、こどもと保護者の交流の機会となった。

	子育てを支えるネットワークの形成	桂徳小学校との連携 西総合支援学校との連携 医療的ケア児受け入れに伴う協議	小学校担任の先生との懇談会については、今年度実施できず、個別担任の先生と子どもの様子の共有などを行った。 次年度医療的ケア児を受け入れるにあたり、保護者、育成推進課、訪問看護ステーション、京都市児童館学童連盟と協議を行い、子どもの様子の共有や児童館に必要な支援、児童館でできることの確認をしていくことができた。
--	------------------	---	--

令和7（2025）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 帰宅指導	4回	7	15	12	4	8								46	春休み期間を利用し、帰宅グループごとに帰り道の確認、危険個所や道路の歩き方を職員が子どもたちに指導・確認などを行う。
(2) 新入生歓迎会	1回	31		33		18	6							88	4月に新たに学童クラブに入会する子ども達の歓迎会を行う。高学年児童が当日の受付・メダル渡し・司会を行い、3年生児童が迎えの言葉を行う。
(2) 1年生オリエンテーション	1回	35												35	1年生を対象に、オリエンテーションとして児童館の説明やあそびのルールの確認などを行う。最後に〇×クイズを行い、理解をしているか確認を行う。
(2) 1年生会議	1回	31												31	2人1組での机の出し方を学ぶ。（学童机の片付けの指導）
(2) 2年生会議	4回		119					2						121	2年生企画や3年生になるに当たっての話し合いを行う。
(2) 3年生会議	12回			312										312	年間の学年目標・個人目標を決定。学童クラブのリーダーとしての役割を確認する。
(2) 3年生企画	2回	42	52	51	24	13	2	2	4					190	3年生が会議を重ね、夏祭りや節分遊びを実施。
(2) 3年生おやつ当番	41回			112										112	3年生がお当番として、週1回のおやつ決めをする。
(2) 高学年会議	11回				145	105	27							277	新入生歓迎会や児童館まつりのあそびコーナー企画・運営を行う。
(2) 高学年企画、お出かけ	1回				25	11	6							42	高学年が会議を重ね、だしがしやさんや正月あそび、お出かけ企画を実施。
(2) ステージ練習	30回	179	149	34	70	12								444	西京こどもまつり、桂徳まつり、児童館まつりなどのステージ発表に向けて練習を行う。
(2) お誕生日会	12回	344	458	288	210	115	31							1446	毎月1回、おめでとうの気持ちを込めて、お誕生日会を行う。おやつはシャトレーゼのケーキ・和菓子の詰め合わせなどを提供しお祝いをする。飾り付けなどもし、子どもたちが楽しめるように工夫する。
(2) 夏休みお出かけ	3回	29	47	35	27	19	5							162	MKボウル、京染体験、大阪レゴランドの3ヶ所に分かれてのお出かけ企画を実施。。
(2) ふれあいステージ出演	1回	5	4	2	6	2							23	42	桂中学校区のふれあいステージに出演。けん玉ダンスとダンスを披露する。
(2) 京都やんちゃフェスタ参加														0	土曜利用の児童を引率、やんちゃフェスタのコーナーや企画を楽しむ。
(3) 親子交流会	1回	20	21	8	14	3	1		3				78	148	2回目の保護者懇談会前に親子の交流会として実施する。普段の家庭とは違う子どもの姿を見る機会を設け、親同士の交流も図る。
(2) 作品展	1回	17	11	11	16	4							70	129	第2回の保護者懇談会に併せてレゴや工作・おりがみなどの作品展を開催。子どもたちから自由なテーマで展示作品を募集。大小様々な作品を展示し、親子で見えていただく。
(3) 保護者懇談会	3回	39	40	21	32	7	1		4				189	333	保護者の方々に子ども達の学童クラブでの様子や長期休みの過ごし方・今後の予定などをお伝える。児童館側からの要望や保護者へ伝えなくてはいけない事項を伝える。
(2) 思い出集作り	6回	26	31	30	23	10	2							122	1年間過ごしてきた学童クラブを振り返り、思い出集づくりを行う。各個人ページの記入をする。
(2) 修了式お楽しみ会	1回	29	40	27	23	12	4							135	1年間の締めくくりとして式典を行う。思い出集・記念品渡しや高学年によるお楽しみ会の開催。
(2) 思い出遠足	1回	29	37	28	25	10	6							135	1年間過ごしてきた学童クラブの仲間で、思い出づくりの遠足を行う。今年度は、神戸どうぶつ王国に行く。
(3) お弁当いらないDAY	2回	66	86	65	45	32	10							304	長期休みの中保護者の昼食準備の負担を軽減するため、学童クラブで昼食を用意する。今年度はパンくまやほかほか亭のお弁当を注文する。
(3) 申請説明会	1回												32	32	次年度学童クラブ入会予定児童の保護者を対象に申請手続きについての説明会を開催する。
(3) 入会説明会	1回							2	3				118	123	次年度学童クラブの入会児童の保護者を対象に学童クラブでの生活・ルールなどを説明する。

※注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
 ※注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること